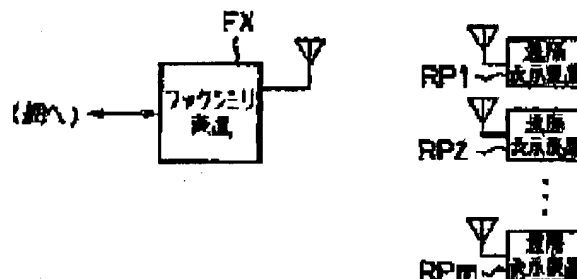


METHOD FOR NOTIFYING ARRIVAL OF CALL TO FACSIMILE EQUIPMENT

Patent number: JP7288667
Publication date: 1995-10-31
Inventor: FURUICHI KOJI
Applicant: RICOH CO LTD
Classification:
- International: H04N1/32
- European:
Application number: JP19940101550 19940415
Priority number(s):

Abstract of JP7288667

PURPOSE: To allow the user to confirm the reception of image information by informing reception of image information to the user via a remote display device from the facsimile equipment main body when the facsimile equipment receives image information.
CONSTITUTION: Upon the receipt of image information from any opposite terminal equipment, the facsimile equipment FX stores the received image information and sends a radio incoming call control signal to remote display devices RP1- RPm corresponding to the opposite terminal equipment at that time. The remote display devices RP1-RPm receiving the incoming notice from the FX inform the arrival of call to the user through incoming notice display. Moreover, the remote display devices RP1-RPm display the identification information of the opposite terminal equipment sending the image information and notify it in voice.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-288667

(43) 公開日 平成7年(1995)10月31日

(51) Int.Cl.*

H04N 1/32

識別記号

C

庁内整理番号

FI

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数11 FD (全15頁)

(21) 出願番号 特願平6-101550

(22) 出願日 平成6年(1994)4月15日

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 古市 浩司

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式

会社リコー内

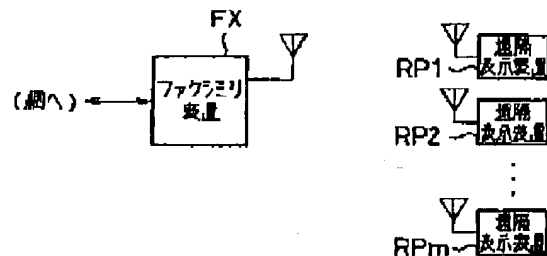
(74) 代理人 弁理士 紋田 誠

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置の着信通知方法

(57) 【要約】

【目的】 ファクシミリ装置の使い勝手を向上できるファクシミリ装置の着信通知方法を提供することを目的としている。

【構成】 ファクシミリ装置が画情報を受信したとき、受信通知がファクシミリ装置本体から遠隔表示装置に通知され、それにより、遠隔表示装置からユーザに対して画情報受信が通知されるので、ユーザは、画情報を受信したことを明確に知ることができる。



(2)

特開平7-288667

【特許請求の範囲】

【請求項1】 自動着信機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、

ファクシミリ装置本体に、着信通知情報を無線で送信する第1の無線通信手段を備えるとともに、

上記第1の無線通信手段から送信された着信通知情報を受信する第2の無線通信手段と、着信通知を聴覚的にユーザに通知する着信通知手段を有する遠隔表示装置を備え、

ファクシミリ装置本体は、受信動作を終了すると、上記第1の無線通信手段によって着信通知情報を送信し、上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が着信通知情報を受信すると、上記着信通知手段を作動して、ユーザに着信通知することを特徴とするファクシミリ装置の着信通知方法。

【請求項2】 自動着信機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、

ファクシミリ装置本体に、着信通知情報を無線で送信する第1の無線通信手段を備えるとともに、

上記第1の無線通信手段から送信された着信通知情報を受信する第2の無線通信手段と、着信通知を視覚的にユーザに通知する着信通知手段を有する遠隔表示装置を備え、

ファクシミリ装置本体は、受信動作を終了すると、上記第1の無線通信手段によって着信通知情報を送信し、上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が着信通知情報を受信すると、上記着信通知手段を作動して、ユーザに着信通知することを特徴とするファクシミリ装置の着信通知方法。

【請求項3】 自動着信機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、

ファクシミリ装置本体に、着信通知情報を無線で送信する第1の無線通信手段を備えるとともに、

上記第1の無線通信手段から送信された着信通知情報を受信する第2の無線通信手段と、着信通知を聴覚的にユーザに通知する聴覚的着信通知手段と、着信通知を視覚的にユーザに通知する視覚的着信通知手段を有する遠隔表示装置を備え、

ファクシミリ装置本体は、受信動作を終了すると、上記第1の無線通信手段によって着信通知情報を送信し、上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が着信通知情報を受信すると、上記聴覚的着信通知手段および上記視覚的着信通知手段を作動して、ユーザに着信通知することを特徴とするファクシミリ装置の着信通知方法。

【請求項4】 自動着信機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、

ファクシミリ装置本体に、所定形式のデータを無線で送信する第1の無線通信手段を備えるとともに、

上記第1の無線通信手段から送信された上記所定形式のデータを受信する第2の無線通信手段と、上記データに

対応した図形文字の文字列を表示する表示手段を有する遠隔表示装置を備え、

ファクシミリ装置本体は、受信動作を終了すると、そのときの相手端末の識別情報を上記所定形式のデータとして上記第1の無線通信手段によって送信し、

上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が上記所定形式のデータを受信すると、その受信したデータに対応した相手端末識別表示情報を上記表示手段に表示することを特徴とするファクシミリ装置の着信通知方法。

【請求項5】 自動着信機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、

ファクシミリ装置本体に、着信通知音声信号を無線で送信する第1の無線通信手段を備えるとともに、

上記第1の無線通信手段から送信された信号を受信する第2の無線通信手段と、上記着信通知音声信号に対応した音響情報を出力する音声出力手段を有する遠隔表示装置を備え、

ファクシミリ装置本体は、受信動作を終了すると、上記着信通知音声信号を上記第1の無線通信手段によって送信し、

上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が上記着信通知音声信号を受信すると、その受信した着信通知音声信号に対応した音響情報を上記音声出力手段により出力することを特徴とするファクシミリ装置の着信通知方法。

【請求項6】 自動着信機能および画像蓄積機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、

ファクシミリ装置本体に、所定形式のデータを無線で受信する第1の無線通信手段と、あらかじめ設定されている転送宛先を記憶する転送宛先記憶手段を備えるとともに、

上記第1の無線通信手段との間で上記所定形式のデータを無線で送受信する第2の無線通信手段と、着信通知を通知する着信通知手段を有する遠隔表示装置を備え、ファクシミリ装置本体は、画情報を受信すると受信画情報を一旦蓄積し、その受信動作を終了すると上記第1の無線通信手段によって上記所定形式のデータからなる着信通知情報を送信し、

上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が上記着信通知情報を受信すると、上記着信通知手段を作動して着信通知し、転送要求が司令入力されると、上記所定形式のデータからなる転送要求情報を上記第2の無線通信手段によって送信し、

ファクシミリ装置本体は、上記第1の無線通信手段が上記転送要求情報を受信すると、上記転送宛先記憶手段に記憶されている転送宛先に対して、そのときに受信して蓄積している画情報を送信することを特徴とするファクシミリ装置の着信通知方法。

【請求項7】 自動着信機能および画像蓄積機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、

(3)

特開平 7-288667

ファクシミリ装置本体に、所定形式のデータを無線で送受信する第1の無線通信手段と、あらかじめ設定されている転送宛先を記憶する転送宛先記憶手段を備えるとともに、

上記第1の無線通信手段との間で上記所定形式のデータを送受信する第2の無線通信手段と、図形文字の文字列を表示する表示手段を有する遠隔表示装置を備え、ファクシミリ装置本体は、図情報を受信すると受信図情報を一旦蓄積し、その受信動作を終了するとそのときの相手端末の識別情報を上記所定形式のデータとして上記第1の無線通信手段によって送信し、

上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が上記相手端末識別情報を受信すると、その受信したデータに対応した相手端末識別表示情報を上記表示手段に表示し、転送要求が司令入力されると、上記所定形式のデータからなる転送要求情報を上記第2の無線通信手段によって送信し、

ファクシミリ装置本体は、上記第1の無線通信手段が上記転送要求情報を受信すると、上記転送宛先記憶手段に記憶されている転送宛先に対して、そのときに受信して蓄積している図情報を送信することを特徴とするファクシミリ装置の着信通知方法。

【請求項8】 自動着信機能および画像蓄積機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、ファクシミリ装置本体に、所定形式のデータを無線で送受信する第1の無線通信手段と、着信通知音声信号を記憶する音声信号記憶手段と、あらかじめ設定されている転送宛先を記憶する転送宛先記憶手段を備えるとともに、

上記第1の無線通信手段との間で上記所定形式のデータを送受信する第2の無線通信手段と、音声信号に対応した音響情報を出力する音声出力手段を有する遠隔表示装置を備え、

ファクシミリ装置本体は、図情報を受信すると受信図情報を一旦蓄積し、その受信動作を終了すると上記音声信号記憶手段に記憶している上記着信通知音声信号を上記所定形式のデータとして上記第1の無線通信手段によって送信し、

上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が上記着信通知音声信号を受信すると、その受信したデータに対応した音響情報を上記音声出力手段より出力し、転送要求が司令入力されると、上記所定形式のデータからなる転送要求情報を上記第2の無線通信手段によって送信し、

ファクシミリ装置本体は、上記第1の無線通信手段が上記転送要求情報を受信すると、上記転送宛先記憶手段に記憶されている転送宛先に対して、そのときに受信して蓄積している図情報を送信することを特徴とするファクシミリ装置の着信通知方法。

【請求項9】 自動着信機能および画像蓄積機能を備え

たファクシミリ装置の着信通知方法において、

ファクシミリ装置本体に、所定形式のデータを無線で送受信するとともに無線チャネルを複数備えた第1の無線通信手段と、おのおのの相手端末に対応して設定されている着信通知チャネルを記憶する通知先記憶手段を備えるとともに、

上記第1の無線通信手段との間で上記所定形式のデータをいずれかの無線チャネルで無線で送受信する第2の無線通信手段と、着信通知を通知する着信通知手段を有する遠隔表示装置を複数備え、

ファクシミリ装置本体は、受信動作を終了すると、そのときの相手端末に対応して上記通知先記憶手段に記憶されている着信通知チャネルを上記第1の無線通信手段にセットし、上記第1の無線通信手段によって上記所定形式のデータからなる着信通知情報を送信し、

上記複数の遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が上記着信通知情報を受信すると、上記着信通知手段を作動して着信通知することを特徴とするファクシミリ装置の着信通知方法。

【請求項10】 自動着信機能および画像蓄積機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、

ファクシミリ装置本体に、所定形式のデータを無線で送受信するとともに無線チャネルを複数備えた第1の無線通信手段と、特定の相手端末に対応してあらかじめ設定されている着信通知チャネルを記憶する通知先記憶手段を備えるとともに、

上記第1の無線通信手段との間で上記所定形式のデータをいずれかの無線チャネルで無線で送受信する第2の無線通信手段と、着信通知を通知する着信通知手段を有する遠隔表示装置を備え、

ファクシミリ装置本体は、受信動作を終了すると、そのときの相手端末が上記通知先記憶手段の特定の相手端末に設定されているときには、その相手端末に対応して上記通知先記憶手段に記憶されている着信通知チャネルを上記第1の無線通信手段にセットし、上記第1の無線通信手段によって上記所定形式のデータからなる着信通知情報を送信し、

上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が上記着信通知情報を受信すると、上記着信通知手段を作動して着信通知することを特徴とするファクシミリ装置の着信通知方法。

【請求項11】 自動着信機能および画像蓄積機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、

ファクシミリ装置本体に、所定形式のデータを無線で送受信するとともに無線チャネルを複数備えた第1の無線通信手段と、おのおのの相手端末に対応してあらかじめ設定されている着信通知チャネルおよび転送宛先を記憶する通知先記憶手段を備えるとともに、

上記第1の無線通信手段との間で上記所定形式のデータをいずれかの無線チャネルで無線で送受信する第2の無線

(4)

特開平7-288667

線通信手段と、着信通知を通知する着信通知手段を有する遠隔表示装置を複数備え、

ファクシミリ装置本体は、受信動作を終了すると、そのときの相手端末に対応して上記通知先記憶手段に記憶されている着信通知チャネルを上記第1の無線通信手段にセットし、上記第1の無線通信手段によって上記所定形式のデータからなる着信通知情報を送信し、

上記複数の遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が上記着信通知情報を受信すると、上記着信通知手段を作動して着信通知し、転送要求が司令入力されると、上記所定形式のデータからなる転送要求情報を上記第2の無線通信手段によって送信し、

ファクシミリ装置本体は、上記第1の無線通信手段が上記転送要求情報を受信すると、そのときの相手端末に対応して上記転送宛先記憶手段に記憶されている転送宛先に対して、そのときに受信して蓄積している画情報を送信することを特徴とするファクシミリ装置の着信通知方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、自動着信機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法、および、自動着信機能および画像蓄積機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法に関する。

【0002】

【従来の技術】一般に、ファクシミリ装置が設置される場合、その設置場所を固定して使用されることが多く、一方、ファクシミリ装置のユーザは、自分の仕事などの事情により、席を離れたり、ファクシミリ装置の設置場所から離れた場所で作業することがある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このために、ファクシミリ装置がいずれかの装置から画情報を受信したとき、その受信をユーザが知ることが困難な場合がある。

【0004】また、特定の相手から画情報を受信したとき、その受信画情報を別のファクシミリ装置に送信したい場合があり、その場合には、受信原稿を送信原稿として用い、所望の送信宛先に送信する手間がかかる。

【0005】さらに、ファクシミリ装置を複数のユーザで共用しているとき、特定の相手から受信した受信原稿が特定のユーザに必要な場合があり、かかる場合、その特定の相手からの受信動作は、その特定のユーザに通知すればよく、他のユーザが関知する必要がない。しかしながら、従来装置では、相手端末と受信の通知先ユーザとの関係を指定することができず、使い勝手が悪い場合があった。

【0006】本発明は、かかる実情に鑑みてなされたものであり、ファクシミリ装置の使い勝手を向上できるファクシミリ装置の着信通知方法を提供することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、自動着信機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、ファクシミリ装置本体に、着信通知情報を無線で送信する第1の無線通信手段を備えるとともに、上記第1の無線通信手段から送信された着信通知情報を受信する第2の無線通信手段と、着信通知を聴覚的にユーザに通知する着信通知手段を有する遠隔表示装置を備え、ファクシミリ装置本体は、受信動作を終了すると、上記第1の無線通信手段によって着信通知情報を送信し、上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が着信通知情報を受信すると、上記着信通知手段を作動して、ユーザに着信通知するようにしたものである。

【0008】また、自動着信機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、ファクシミリ装置本体に、着信通知情報を無線で送信する第1の無線通信手段を備えるとともに、上記第1の無線通信手段から送信された着信通知情報を受信する第2の無線通信手段と、着信通知を視覚的にユーザに通知する着信通知手段を有する遠隔表示装置を備え、ファクシミリ装置本体は、受信動作を終了すると、上記第1の無線通信手段によって着信通知情報を送信し、上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が着信通知情報を受信すると、上記着信通知手段を作動して、ユーザに着信通知するようにしたものである。

【0009】また、自動着信機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、ファクシミリ装置本体に、着信通知情報を無線で送信する第1の無線通信手段を備えるとともに、上記第1の無線通信手段から送信された着信通知情報を受信する第2の無線通信手段と、着信通知を聴覚的にユーザに通知する聴覚的着信通知手段と、着信通知を視覚的にユーザに通知する視覚的着信通知手段を有する遠隔表示装置を備え、ファクシミリ装置本体は、受信動作を終了すると、上記第1の無線通信手段によって着信通知情報を送信し、上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が着信通知情報を受信すると、上記聴覚的着信通知手段および上記視覚的着信通知手段を作動して、ユーザに着信通知するようにしたものである。

【0010】また、自動着信機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、ファクシミリ装置本体に、所定形式のデータを無線で送信する第1の無線通信手段を備えるとともに、上記第1の無線通信手段から送信された上記所定形式のデータを受信する第2の無線通信手段と、上記データに対応した図形文字の文字列を表示する表示手段を有する遠隔表示装置を備え、ファクシミリ装置本体は、受信動作を終了すると、そのときの相手端末の識別情報を上記所定形式のデータとして上記第1の無線通信手段によって送信し、上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が上記所定形式のデータを

(5)

特開平7-288667

受信すると、その受信したデータに対応した相手端末識別表示情報を上記表示手段に表示するようにしたものである。

【0011】また、自動着信機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、ファクシミリ装置本体に、着信通知音声信号を無線で送信する第1の無線通信手段を備えるとともに、上記第1の無線通信手段から送信された信号を受信する第2の無線通信手段と、上記着信通知音声信号に対応した音響情報を出力する音声出力手段を有する遠隔表示装置を備え、ファクシミリ装置本体は、受信動作を終了すると、上記着信通知音声信号を上記第1の無線通信手段によって送信し、上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が上記着信通知音声信号を受信すると、その受信した着信通知音声信号に対応した音響情報を上記音声出力手段により出力するようにしたものである。

【0012】また、自動着信機能および画像蓄積機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、ファクシミリ装置本体に、所定形式のデータを無線で送受信する第1の無線通信手段と、あらかじめ設定されている転送宛先を記憶する転送宛先記憶手段を備えるとともに、上記第1の無線通信手段との間で上記所定形式のデータを無線で送受信する第2の無線通信手段と、着信通知を通知する着信通知手段を有する遠隔表示装置を備え、ファクシミリ装置本体は、画情報を受信すると受信画情報を一旦蓄積し、その受信動作を終了すると上記第1の無線通信手段によって上記所定形式のデータからなる着信通知情報を送信し、上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が上記着信通知情報を受信すると、上記着信通知手段を起動して着信通知し、転送要求が司令入力されると、上記所定形式のデータからなる転送要求情報を上記第2の無線通信手段によって送信し、ファクシミリ装置本体は、上記第1の無線通信手段が上記転送要求情報を受信すると、上記転送宛先記憶手段に記憶されている転送宛先に対して、そのときに受信して蓄積している画情報を送信するようにしたものである。

【0013】また、自動着信機能および画像蓄積機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、ファクシミリ装置本体に、所定形式のデータを無線で送受信する第1の無線通信手段と、あらかじめ設定されている転送宛先を記憶する転送宛先記憶手段を備えるとともに、上記第1の無線通信手段との間で上記所定形式のデータを送受信する第2の無線通信手段と、図形文字の文字列を表示する表示手段を有する遠隔表示装置を備え、ファクシミリ装置本体は、画情報を受信すると受信画情報を一旦蓄積し、その受信動作を終了するとそのときの相手端末の識別情報を上記所定形式のデータとして上記第1の無線通信手段によって送信し、上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が上記相手端末識別情報を受信すると、その受信したデータに対応した相手端末識

別表示情報を上記表示手段に表示し、転送要求が司令入力されると、上記所定形式のデータからなる転送要求情報を上記第2の無線通信手段によって送信し、ファクシミリ装置本体は、上記第1の無線通信手段が上記転送要求情報を受信すると、上記転送宛先記憶手段に記憶されている転送宛先に対して、そのときに受信して蓄積している画情報を送信するようにしたものである。

【0014】また、自動着信機能および画像蓄積機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、ファクシミリ装置本体に、所定形式のデータを無線で送受信する第1の無線通信手段と、着信通知音声信号を記憶する音声信号記憶手段と、あらかじめ設定されている転送宛先を記憶する転送宛先記憶手段を備えるとともに、上記第1の無線通信手段との間で上記所定形式のデータを送受信する第2の無線通信手段と、音声信号に対応した音響情報を出力する音声出力手段を有する遠隔表示装置を備え、ファクシミリ装置本体は、画情報を受信すると受信画情報を一旦蓄積し、その受信動作を終了すると上記音声信号記憶手段に記憶している上記着信通知音声信号を上記所定形式のデータとして上記第1の無線通信手段によって送信し、上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が上記着信通知音声信号を受信すると、その受信したデータに対応した音響情報を上記音声出力手段より出力し、転送要求が司令入力されると、上記所定形式のデータからなる転送要求情報を上記第2の無線通信手段によって送信し、ファクシミリ装置本体は、上記第1の無線通信手段が上記転送要求情報を受信すると、上記転送宛先記憶手段に記憶されている転送宛先に対して、そのときに受信して蓄積している画情報を送信するようにしたものである。

【0015】また、自動着信機能および画像蓄積機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、ファクシミリ装置本体に、所定形式のデータを無線で送受信するとともに無線チャネルを複数備えた第1の無線通信手段と、おのおのの相手端末に対応して設定されている着信通知チャネルを記憶する通知先記憶手段を備えるとともに、上記第1の無線通信手段との間で上記所定形式のデータをいずれかの無線チャネルで無線で送受信する第2の無線通信手段と、着信通知を通知する着信通知手段を有する遠隔表示装置を複数備え、ファクシミリ装置本体は、受信動作を終了すると、そのときの相手端末に対応して上記通知先記憶手段に記憶されている着信通知チャネルを上記第1の無線通信手段にセットし、上記第1の無線通信手段によって上記所定形式のデータからなる着信通知情報を送信し、上記複数の遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が上記着信通知情報を受信すると、上記着信通知手段を起動して着信通知するようにしたものである。

【0016】また、自動着信機能および画像蓄積機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、ファ

(6)

特開平7-288667

クシミリ装置本体に、所定形式のデータを無線で送受信するとともに無線チャネルを複数備えた第1の無線通信手段と、特定の相手端末に対応して設定されている着信通知チャネルを記憶する通知先記憶手段を備えるとともに、上記第1の無線通信手段との間で上記所定形式のデータをいずれかの無線チャネルで無線で送受信する第2の無線通信手段と、着信通知を通知する着信通知手段を有する遠隔表示装置を備え、ファクシミリ装置本体は、受信動作を終了すると、そのときの相手端末が上記通知先記憶手段の特定の相手端末に設定されているときには、その相手端末に対応して上記通知先記憶手段に記憶されている着信通知チャネルを上記第1の無線通信手段にセットし、上記第1の無線通信手段によって上記所定形式のデータからなる着信通知情報を送信し、上記遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が上記着信通知情報を受信すると、上記着信通知手段を動作して着信通知するようにしたものである。

【0017】また、自動着信機能および画像蓄積機能を備えたファクシミリ装置の着信通知方法において、ファクシミリ装置本体に、所定形式のデータを無線で送受信するとともに無線チャネルを複数備えた第1の無線通信手段と、おのおのの相手端末に対応してあらかじめ設定されている着信通知チャネルおよび転送宛先を記憶する通知先記憶手段を備えるとともに、上記第1の無線通信手段との間で上記所定形式のデータをいずれかの無線チャネルで無線で送受信する第2の無線通信手段と、着信通知を通知する着信通知手段を有する遠隔表示装置を複数備え、ファクシミリ装置本体は、受信動作を終了すると、そのときの相手端末に対応して上記通知先記憶手段に記憶されている着信通知チャネルを上記第1の無線通信手段にセットし、上記第1の無線通信手段によって上記所定形式のデータからなる着信通知情報を送信し、上記複数の遠隔表示装置は、上記第2の無線通信手段が上記着信通知情報を受信すると、上記着信通知手段を動作して着信通知し、転送要求が司令入力されると、上記所定形式のデータからなる転送要求情報を上記第2の無線通信手段によって送信し、ファクシミリ装置本体は、上記第1の無線通信手段が上記転送要求情報を受信すると、そのときの相手端末に対応して上記転送宛先記憶手段に記憶されている転送宛先に対して、そのときに受信して蓄積している画情報を送信するようにしたものである。

【0018】

【作用】したがって、ファクシミリ装置が画情報を受信したとき、受信通知がファクシミリ装置本体から遠隔表示装置に通知され、それにより、遠隔表示装置からユーザに対して画情報受信が通知されるので、ユーザは、画情報を受信したことを明確に知ることができる。

【0019】また、特定の相手端末からの受信通知を、特定のユーザに通知することができるので、他のユーザ

が知りたくない情報を通知するような事態を防止することができる。

【0020】また、着信通知を受けたユーザは、あらかじめ指定していた宛先に対して、受信画像の転送を指定することができるので、ファクシミリ装置の使い勝手が向上する。また、ユーザ毎に、転送宛先を指定できるので、便利である。

【0021】

【実施例】以下、添付図面を参照しながら、本発明の実施例を詳細に説明する。

【0022】図1は、本発明の一実施例にかかるファクシミリシステムを示している。

【0023】同図において、このファクシミリシステムは、公衆電話網を介して他のファクシミリ装置との間で画情報の送受信を行うファクシミリ装置FXと、ファクシミリ装置FAXの着信をユーザに通知するための複数の遠隔表示装置RP1～RPMから構成されている。おのおのの遠隔表示装置RP1～RPMは、それぞれ異なるユーザに所持されて、持ち運ばれる。

【0024】ここで、ファクシミリ装置FXと遠隔表示装置RP1～RPMとの間のデータのやりとりは、無線通信により行われる。また、おのおのの遠隔表示装置RP1～RPMには、異なる通信チャネルが設定されていて、ファクシミリ装置FXは、通信チャネルを指定することで所望の遠隔表示装置RP1～RPMを選択することができる。

【0025】ファクシミリ装置FXは、いずれかの相手端末から画情報を受信すると、その受信した画情報を蓄積し、そのときの相手端末に対応した遠隔表示装置RP1～RPMに対して着信通知信号を送信する。ファクシミリ装置FXからの着信通知を受信した遠隔表示装置RP1～RPMは、着信通知表示を行ってユーザに着信したことを通知する。

【0026】遠隔表示装置RP1～RPMにより着信通知されたユーザは、相手端末の表示、受信した画情報の記録出力、あるいは、受信した画情報の転送を、遠隔表示装置RP1～RPMにより操作することができ、遠隔表示装置RP1～RPMは、ユーザの操作内容に対応した情報をファクシミリ装置FXに送信する。また、遠隔表示装置RP1～RPMは、ユーザから相手端末の表示が要求されたとき、音声通知モードがセットされているときには、音声通知もファクシミリ装置FXに要求する。

【0027】ファクシミリ装置FXは、遠隔表示装置RP1～RPMから相手端末の表示が要求されると、そのときに得た相手端末の識別情報を遠隔表示装置RP1～RPMに送信する。また、遠隔表示装置RP1～RPMより、音声通知が要求されると、その相手端末に設定されている音声通知用の音声信号を送信する。ここで、相手端末の識別情報は、例えば、非標準機能設定番号NS

(7)

特開平7-288667

Sの拡張情報フィールド（メーカ独自）に含まれる任意の文字（英数かな漢字）コード列からなる送信端末識別情報、または、送信端末識別信号TSI（オプション信号）の情報フィールドに含まれる20桁までの電話番号情報などを適用することができる。

【0028】それにより、遠隔表示装置RP1～RPmには、画情報を送信した相手端末の識別情報が表示されるとともに、音声通知されるので、ユーザは、どの相手端末からの画情報を受信したのかを明確に知ることができる。

【0029】また、ファクシミリ装置FXは、遠隔表示装置RP1～RPmから画情報の転送が要求されると、その相手端末について設定されている転送宛先に対し、蓄積している受信画情報の送信を行う。

【0030】また、ファクシミリ装置FXは、遠隔表示装置RP1～RPmから画情報の記録が要求されると、蓄積している受信画情報の記録動作を行う。

【0031】このようにして、本実施例では、ファクシミリ装置FXが画情報を受信すると、そのときの相手端末に対応したユーザに着信通知が行われるので、ユーザは、移動中でも、あるいは、ファクシミリ装置FXから離れた場所に居している場合でも、ファクシミリ装置FXに着信があったことを明確に知ることができる。また、通知先が相手端末によって指定されるので、ユーザに対して無用な着信通知を行うような事態を回避することができる。

【0032】また、着信通知されたユーザは、所持している遠隔表示装置RP1～RPmに、そのときの相手端末の識別情報を表示させることができるので、そのときの着信がいずれの相手からのものであるのかを確実に知ることができる。

【0033】さらに、ユーザは、あらかじめ設定しておいた宛先に受信した画情報を転送したり、あるいは、受信原稿をその場で記録出力させることを、ファクシミリ装置FXに対して遠隔操作できるので、ファクシミリ装置FXの使い勝手が格段に向上する。

【0034】図2は、ファクシミリ装置FXの一例を示している。

【0035】同図において、システム制御部1は、このファクシミリ装置FXの各部の動作制御処理、グループ3ファクシミリ伝送制御手順処理、遠隔表示装置RP1～RPmとの間におけるデータのやりとり処理などの各種の制御処理を実行するものであり、システムメモリ2は、システム制御部1が実行する制御処理プログラム、および、処理プログラムを実行するときに必要な各種データなどを記憶するとともに、システム制御部1のワークエリアを構成するものであり、パラメータメモリ3は、このファクシミリ装置FXに固有な各種の情報を記憶するためのものである。

【0036】スキャナ4は、所定の解像度で原稿画像を

読み取るためのものであり、プロッタ5は、所定の解像度で画像を記録出力するためのものであり、操作表示部6は、このファクシミリ装置を操作するためのもので、各種の操作キー、および、各種の表示器からなる。

【0037】符号化復号化部7は、画信号を符号化圧縮するとともに、符号化圧縮されている画情報を元の画信号に復号化するためのものであり、画像蓄積装置8は、符号化圧縮された状態の画情報を多数記憶するためのものである。

【0038】グループ3ファクシミリモデム9は、グループ3ファクシミリのモデム機能を実現するためのものであり、伝送手順信号をやりとりするための低速モデム機能（V.21モデム）、および、おもに画情報をやりとりするための高速モデム機能（V.17モデム、V.29モデム、V.27terモデムなど）を備えている。

【0039】網制御装置10は、このファクシミリ装置を公衆電話回線網に接続するためのものであり、自動発着信機能を備えている。

【0040】無線装置11は、遠隔表示装置RP1～RPmとの間で種々のデータをやりとりするためのものであり、少なくともm個の周波数チャネルを設定することができる。すなわち、この場合、遠隔表示装置RP1～RPmに対する通信チャネルは、周波数分割により設定される周波数チャネルにより実現される。

【0041】音声CODEC12は、マイク13より入力したアナログ音声信号に対応するデジタル音声信号に変換するとともに、出力音声に対応したデジタル出力音声信号に対応するアナログ出力音声信号に変換してスピーカ14に出力するものであり、音声メモリ15は、ファクシミリ装置FXの操作ガイダンスを構成する音声ファイルや、ユーザが登録した音声ファイルなどの種々のデジタル音声信号のファイルデータを保存するためのものである。

【0042】これらの、システム制御部1、システムメモリ2、パラメータメモリ3、スキャナ4、プロッタ5、操作表示部6、符号化復号化部7、画像蓄積装置8、グループ3ファクシミリモデム9、網制御装置10、無線装置11、音声CODEC12、および、音声メモリ15は、内部バス16に接続されており、これらの各要素間でのデータのやりとりは、主としてこの内部バス16を介して行われている。

【0043】また、網制御装置10とグループ3ファクシミリモデム9との間のデータのやりとりは、直接行なわれている。

【0044】さて、パラメータメモリ3には、着信通知する遠隔表示装置RP1～RPmに関する情報として、共通通知テーブルおよび個別通知テーブルが保存されている。ここで、共通通知テーブルは、必ず1つ形成され、個別通知テーブルは、形成されない場合がある。

(8)

特開平7-288667

【0045】共通通知テーブルは、基本的には、個別通知テーブルが形成されていない場合の着信通知に関する情報をあらわすものであり、例えば、図3(a)に示すように、着信通知先の遠隔表示装置RP1~RPmの通信チャネルをあらわすチャネル番号、転送する宛先の電話番号をあらわす転送宛先、音声通知が要求されたときに送信する音声ファイルの番号をあらわす音声番号、個別通知テーブルが形成されている場合で個別通知テーブルに登録されていない宛先にこの共通通知テーブルを適用するか否かのユーザ指定を保存するための個別適用フラグ、および、強制転送モードに関するユーザ指定の内容を保存するための強制転送フラグからなる。

【0046】個別通知テーブルは、おのおのの相手端末についての着信通知に関する情報を記憶するものであり、例えば、図3(b)に示すように、相手端末の識別情報をあらわす相手先情報、チャネル番号、転送宛先、および、音声番号からなる。

【0047】ここで、これらの共通通知テーブルおよび個別通知テーブルは、ファクシミリ装置FXのユーザにより設定入力される。また、音声通知用の音声ファイルについては、ユーザが音声登録モードを設定した状態で、マイク13より音声を入力すると、そのときの入力期間に得られたアナログ音声信号に対応したデジタル音声信号が、音声ファイルとして音声メモリ15に保存される。そのときに、システム制御部1により、音声ファイルには適宜な識別番号(音声番号)が付与されて、それ以降、おのおのの音声ファイルは、その音声番号を参照して読み出される。

【0048】なお、音声通知用の音声ファイルが特別にユーザにより形成されなかった場合、あらかじめシステム側に用意されている音声ファイル(以下、デフォルト音声ファイルという)を音声通知用の音声ファイルとして用いることができる。その場合、共通通知テーブルおよび個別通知テーブルの音声番号として、そのデフォルト音声ファイルの音声番号がセットしたり、あるいは、音声番号に無効なデータをセットする。

【0049】図4は、遠隔表示装置RP(RP1~RPm)の一例を示している。

【0050】同図において、システム制御部21は、この遠隔表示装置RPの各部の動作制御処理、ユーザとの間の対話処理、および、ファクシミリ装置FXとの間でのデータのやりとり処理などの各種の制御処理を実行するものであり、ROM(リード・オンリ・メモリ)22は、システム制御部1が実行する処理プログラム、および、処理プログラムを実行するときに必要な各種データなどを記憶するものであり、RAM(ランダム・アクセス・メモリ)23は、システム制御部1のワークエリアを構成するものである。

【0051】無線装置24は、複数の周波数チャネルのうちチャネル番号スイッチ25により指定されるチャネ

ル番号の周波数チャネルを用いて、ファクシミリ装置FXとの間でデータのやりとりを行うためのものである。

【0052】操作表示部26は、この遠隔表示装置RPを操作するためのものであり、種々の操作キー、および、着信通知を視覚的に表示する発光ダイオード(後述)などの種々の表示器からなる。

【0053】音声CODEC27は、デジタル出力音声信号に対応するアナログ出力音声信号に変換するものであり、その変換後のアナログ出力音声信号は、スピーカ28に出力され、対応する音響信号がスピーカ28より出力される。

【0054】ブザー29は、着信通知を聴覚的に通知するためのものである。また、音声応答スイッチ30は、音声応答モードのセット/リセットを操作するためのものである。

【0055】これらのシステム制御部21、ROM22、RAM23、無線装置24、操作表示部26、音声CODEC27、および、ブザー29は、内部バス31に接続され、これらの各要素間のデータのやりとりは、主としてこの内部バス31を介して行われる。

【0056】図5(a)、(b)は、遠隔表示装置RPの筐体の一例を示している。同図(a)が表面を、同図(b)が裏面をそれぞれ示している。また、表面には、操作表示部26の操作キーおよび液晶表示装置があらわれている。

【0057】図において、応答キー26aは、着信通知の応答を操作するためのものであり、表示キー26bは、相手端末の識別情報の表示要求を操作するためのものであり、転送キー26cは、受信画情報の転送要求を操作するためのものであり、記録キー26dは、受信画情報の記録要求を操作するためのものであり、発光ダイオード26eは、着信通知を視覚に行うためのものであり、液晶表示器26fは、ガイダンスメッセージや相手端末の識別情報などを図形文字列で表示出力するためのものである。また、孔あき部33は、スピーカ28およびブザー29から出力される音響信号を外部に出力するためのものである。

【0058】また、チャネル番号スイッチ25は、複数桁のビットスイッチからなり、通常は、メクラ板で閉止され、容易に操作できないようにされる。また、音声応答スイッチ30は、1つのスライドスイッチからなる。音声応答スイッチ30は、適宜にユーザが操作できるように、常時開放される。

【0059】以上の構成で、ファクシミリ装置FXは、いずれかの相手端末から発呼されて着信検出すると、図6に示した処理を実行する。

【0060】まず、着信応答して(処理101)、自端末が非音声端末であることを表示するための被呼局識別信号CED、自端末の非標準的な機能を知するための非標準機能識別信号NSF、および、自端末の標準的な

(9)

待開平7-288667

機能を知照するためのデジタル識別信号D1Sを送出し（処理102）、相手端末から命令信号を受信する（処理103）。

【0061】そして、命令信号に含まれている端末識別情報を取り出して保存し（処理104）、指定された伝送機能を装置内部にセットして、指定されたモデム速度で所定のモデムトレーニング手順を実行し（処理105）、そのときに使用するモデム速度を決定する。

【0062】次いで、1ページ分の画情報を受信して、画像蓄積装置8に保存し（処理106）、1ページ分の画情報の受信を終了すると、そのときの受信結果をあらわす応答信号を送出する（処理107）。そして、次のページがあることが通知されている場合には（判断108）、処理106に戻って、次のページの画情報を受信する。

【0063】全部のページの受信が終了した場合で、判断108の結果がYESになるとときには、相手端末から切断命令信号DCNを受信し（処理109）、回線を復旧して（処理110）、一連の受信動作を終了し、所定の着信通知処理（処理111）を実行する。

【0064】着信通知処理の一例を図7および図8に示す。

【0065】まず、そのときに抽出して保存した相手端末の識別情報を得る（処理201）。そして、そのときに1つ以上の個別通知テーブルが形成されているかどうかを調べ（判断202）、判断202の結果がYESになるとときには、そのときの識別情報がいずれかの個別通知テーブルに登録されているかどうかを調べる（判断203）。

【0066】判断203の結果がYESになるとときには、その個別通知テーブルを読み出し（処理204）、チャンネル番号を得て（処理205）、そのチャンネル番号に対応した周波数チャンネルを無線装置11にセットする（処理206）。これにより、無線装置11は、それ以降、そのチャンネル番号に対応した遠隔表示装置RP1～RPmとの間でのみデータのやりとりが行える状態になる。

【0067】次に、所定の呼出信号を無線装置11より出力してそのときの通知先である遠隔表示装置RP1～RPmを呼び出し（処理207）、その通知先からの応答信号が所定時間内に返ってくるかどうかを監視する（判断208、209のNOループ）。

【0068】通知先からの応答信号が所定時間内に返ってきた場合で、判断208の結果がYESになると、遠隔表示装置RP1～RPmからの操作信号を受信するまで待つ（判断210のNOループ）。

【0069】いずれかの操作信号を受信した場合で、判断210の結果がYESになるとときには、そのときの操作内容が転送要求であるか、記録要求であるか、表示要求であるかを判別する（判断211、212）。

【0070】転送要求が指定された場合で、判断211の結果がYESになるとときには、そのときに読み出している個別通知テーブルに登録されている転送宛先を宛先として、所定の転送処理を起動し（処理213）、この処理を終了する。

【0071】記録要求が指定された場合で、判断212の結果がYESになるとときには、そのときの受信画情報を記録出力する記録処理を実行して（処理214）、この処理を終了する。

【0072】また、表示要求が指定された場合で、判断212の結果がNOになるとときには、そのときの識別情報の内容を、無線装置11を介して遠隔表示装置RP1～RPmに送信する（処理215）。この場合、次に、音声要求の操作信号が、遠隔表示装置RP1～RPmより送信されてくる場合があるので、その場合には、その操作信号を受信し（処理216）、そのときに読み出している個別通知テーブルに有効な音声番号が登録されているかどうかを調べる（判断217）。

【0073】判断217の結果がYESになるとときには、その音声番号の音声信号ファイルのデータを、音声メモリ15より読み出して、無線装置11を介し、遠隔表示装置RP1～RPmに送信し（処理218）、判断210に戻って、次の操作信号を受信する。

【0074】また、判断217の結果がNOになるとときには、デフォルト音声ファイルのデータを音声メモリ15より読み出して、無線装置11を介し、遠隔表示装置RP1～RPmに送信し（処理219）、判断210に戻って、次の操作信号を受信する。

【0075】また、個別通知テーブルが1つも形成されていない場合で、判断202の結果がNOになるとときには、共通通知テーブルを読み出し（処理220）、その強制転送フラグがセットされているかどうかを調べ（判断221）、判断221の結果がYESになるとときには、処理213に移行して、受信画情報の転送を行う。また、判断221の結果がNOになるとときには、処理205に移行し、上述と同様の処理を実行する。

【0076】また、個別通知テーブルが形成されているが、そのときの識別情報が登録されている個別通知テーブルを見つけれなかった場合で、判断203の結果がNOになるとときには、共通通知テーブルを読み出し（処理222）、その個別適用フラグがセットされているかどうかを調べる（判断223）。判断223の結果がYESになるとときには、処理205に移行し、その相手端末について、共通通知テーブルを個別通知テーブルとして適用する。また、判断223の結果がNOになるとときには、処理214に移行して、受信画情報の記録動作を実行する。

【0077】図9は、転送処理の一例を示している。

【0078】まず、指定された宛先を発呼し（処理301）、宛先端末との間で所定の伝送前手順を実行して画

(10)

特開平7-288667

情報の送信準備を行い(処理302)、所定の画情報送信手順を実行して、そのときに受信して画像蓄積装置Bに蓄積している画情報をその宛先端末に送信し(処理303)、所定の伝送後手順を実行して(処理304)、回線を復旧し、一連の転送処理を終了する。

【0079】図10は、記録処理の一例を示している。

【0080】まず、蓄積している画情報の記録ページを選択し(処理401)、その1ページ分の画情報を復号化し(処理402)、それによって得た画信号をプロッタ5に転送して、1ページ分の受信原稿を記録出力する(処理403)。次いで、全てのページの記録を終了したかどうかを調べ(判断404)、判断404の結果がNOになるとときには、次に記録するページを選択するために処理401に移行する。また、判断404の結果がYESになるとときには、この記録処理を終了する。

【0081】図11は、遠隔表示装置RP1~RPmの処理例を示している。

【0082】まず、ファクシミリ装置FXから呼出信号を受信することを監視しており(判断501のNOループ)、呼出信号を受信して判断501の結果がYESになると、プザー29により呼出音を繰り返し発生する呼出音発生処理を開始するとともに(処理502)、発光ダイオード26eを点滅点灯する点滅処理を開始して(処理503)、ユーザの呼び出しを開始する。

【0083】このようにして、ユーザの呼び出しを開始すると、所定時間内にユーザが応答キー26aを操作することを監視する(判断504、505のNOループ)。呼び出しを開始してから、所定時間を経過するまでにユーザが応答キー26aを操作しなかった場合で、判断505の結果がYESになるとときには、呼出音発生処理を停止するとともに(処理506)、点滅処理を終了して(処理507)、ユーザの呼出動作を停止し、このときの動作を終了する。

【0084】また、呼び出しを開始してから、所定時間を経過するまでにユーザが応答キー26aを操作した場合で、判断504の結果がYESになるとときには、所定の応答信号を無線装置24を介してファクシミリ装置FXに送信し(処理508)、呼出音発生処理および点滅処理を停止して(処理509)、ユーザの呼び出しを終了する。

【0085】次に、ユーザに表示キー26b、転送キー26c、記録キー26dのいずれかを選択操作するように促すガイダンスメッセージを表示して(処理510)、ユーザがいずれかの操作キー(表示キー26b、転送キー26c、記録キー26d)を操作するまで待つ(判断511のNOループ)。

【0086】いずれかの操作キーがオン操作された場合で、判断511の結果がYESになると、そのときに操作されたのが表示キー26bであるかどうかを調べる(判断512)。判断512の結果がNOになるときに

は、転送キー26cまたは記録キー26dのいずれかが操作された場合なので、その操作されたキーに対応した要求を司令する操作信号を形成し、その操作信号を無線装置24を介してファクシミリ装置FXに送信し(処理513)、このときの処理を終了する。

【0087】また、表示キー26bが操作された場合で、判断512の結果がYESになるとときには、表示要求するための操作信号を形成し、その表示操作信号を無線装置24を介してファクシミリ装置FXに送信し(処理514)、ファクシミリ装置FXから識別情報を受信すると、その内容を液晶表示器26fに表示出力する(処理515)。

【0088】そして、そのときに音声応答スイッチ30がオン位置に操作されているかどうかを調べ(判断516)、判断516の結果がYESになるとときには、音声要求操作信号を形成し、その音声要求操作信号を無線装置24を介してファクシミリ装置FXに送信し(処理517)、ファクシミリ装置FXから音声信号を受信すると、その受信した音声信号を音声CODEC27に転送し、それにより、音声通知用の音声をスピーカ28より発生させて(処理518)、次のユーザのキー操作に備えて、判断511に戻る。また、判断516の結果がNOになるとときには、その時点で、判断511に戻る。

【0089】このようにして、本実施例では、共通通知テーブルと個別通知テーブルの2種類の通知テーブルを形成し、おのおのの相手端末についての着信通知を、個別通知テーブルを用いて行えるようにしているので、相手端末に応じて着信通知先を設定することができ、着信通知先を明確に指定することができる。

【0090】また、個別通知テーブルに登録されていない相手端末については、共通通知テーブルを個別通知テーブルとみなして着信通知するモードを設定できるので、個別通知テーブルに登録されていない相手端末についても、登録された相手端末と同様の着信通知を行うことができ、画情報の転送などを行うことができる。なお、個別適用フラグをクリア状態に設定しておく、この動作モードがオフされ、その場合には、個別通知テーブルに登録されていない相手端末からの受信画情報は、即座に記録出力するので、着信通知したくない相手端末を指定することもできる。

【0091】また、個別通知テーブルが形成されていない場合、共通通知テーブルが有効に使われ、その場合、強制転送フラグをセットしておく、全ての受信画情報は指定された転送宛先に強制的に転送されるので、管理ユーザが不在で、別の場所で画情報を受け取りたい場合に便利である。

【0092】また、相手端末の識別情報を表示要求したときに、音声通知のオンオフを遠隔表示装置RP1~RPmが個別に設定できるようにしているので、音声通知されては都合が悪い場所で、通知音声が出力されるよう

(11)

特開平7-288667

な事態を解消することができる。なお、通知音声としては、適宜のものを登録することができるが、通常は、相手端末を表示するような内容が好ましいと考える。また、デフォルト音声としては、「音声登録されていません」などを適用することもできる。

【0093】ところで、上述した実施例では、ファクシミリ装置FXと遠隔表示装置RP1～RPMの間の通信チャンネルとして周波数分割して形成した周波数チャンネルを用いているが、この通信チャンネルとしては、時分割チャンネルや、それ以外の混線防止可能なチャンネル手段を適用することができる。また、ローカルエリアネットワークLANのように、おのおのの遠隔表示装置RP1～RPMにアドレスを割り当てておき、ファクシミリ装置FXが送信データに設けられている宛先ヘッダなどにアドレス指定することで相手の遠隔表示装置RP1～RPMを指定するようにすることもできる。

【0094】なお、着信通知手段としては、視覚的通知手段、聴覚的通知手段のほか、振動による感覚的通知手段を用いることができる。

【0095】また、上述した実施例では、共通通知テーブルにより、全ての相手端末について、着信通知するようにしているが、この共通通知テーブルを設けずに、個別通知テーブルのみを設けるようにすることもできる。その場合、特定の相手端末からの着信のみを通知することができる。同様の機能は、共通通知テーブルにこの共通通知テーブルを適用するか否かを指定するためのフラグを追加することでも実現することができる。

【0096】また、上述した実施例では、相手端末の識別情報や着信通知の音声信号をそのままの形で遠隔表示装置に出力しているが、それらの信号を暗号化して送信すると、盗聴などの悪意の行為から通信の秘密を保護することができる。

【0097】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、ファクシミリ装置が画情報を受信したとき、受信通知が

ファクシミリ装置本体から遠隔表示装置に通知され、それにより、遠隔表示装置からユーザに対して画情報受信が通知されるので、ユーザは、画情報を受信したことを明確に知ることができるという効果を得る。

【0098】また、特定の相手端末からの受信通知を、特定のユーザに通知することができるので、他のユーザが知りたくない情報を通知するような事態を防止することができるという効果も得る。

【0099】また、着信通知を受けたユーザは、あらかじめ指定していた宛先に対して、受信画像の転送を指定することができるので、ファクシミリ装置の使い勝手が向上するという効果も得る。また、ユーザ毎に、転送宛先を指定できるので、便利である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例にかかるファクシミリシステムを示したブロック図。

【図2】ファクシミリ装置の一例を示したブロック図。

【図3】共通通知テーブルおよび個別通知テーブルの一例を示した概略図。

【図4】遠隔表示装置の一例を示したブロック図。

【図5】遠隔表示装置の外観の一例を示した概略図。

【図6】ファクシミリ装置の着信時の処理例を示したフローチャート。

【図7】着信通知処理の一例の一部を示したフローチャート。

【図8】着信通知処理の一例の他の部分を示したフローチャート。

【図9】転送処理の一例を示したフローチャート。

【図10】記録処理の一例を示したフローチャート。

【図11】遠隔表示装置の処理例を示したフローチャート。

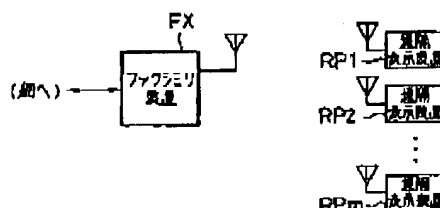
【符号の説明】

FX ファクシミリ装置

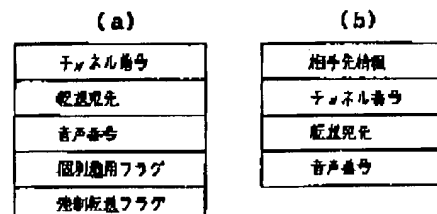
RP1～RPM 遠隔表示装置

11, 24 無線装置

【図1】



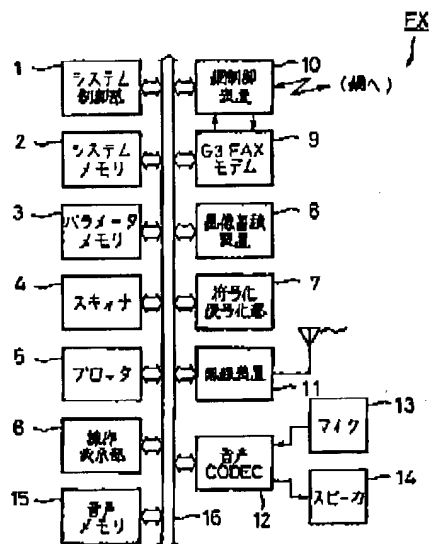
【図3】



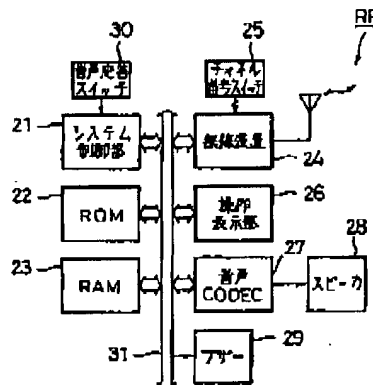
(12)

特開平7-288667

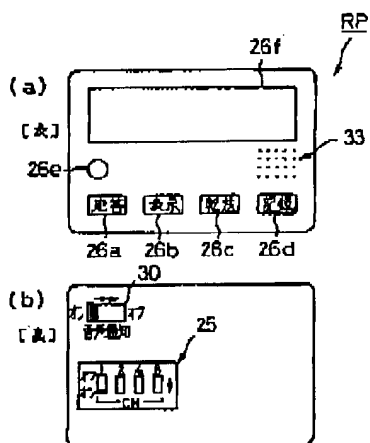
【図2】



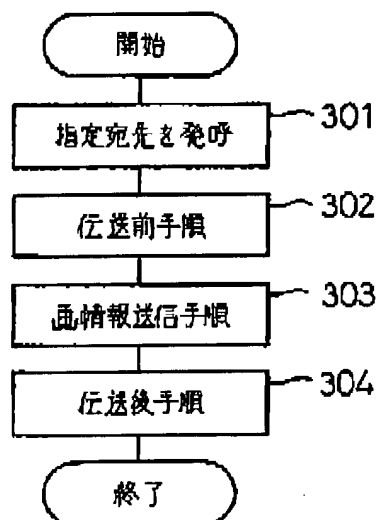
【図4】



【図5】



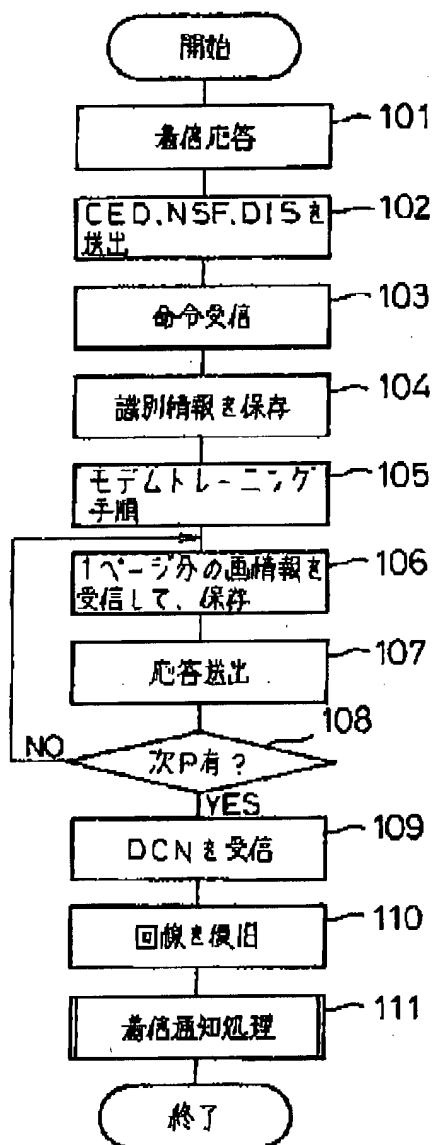
【図9】



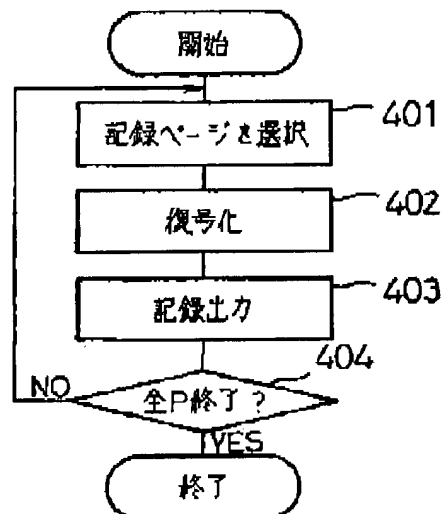
(13)

特開平7-288667

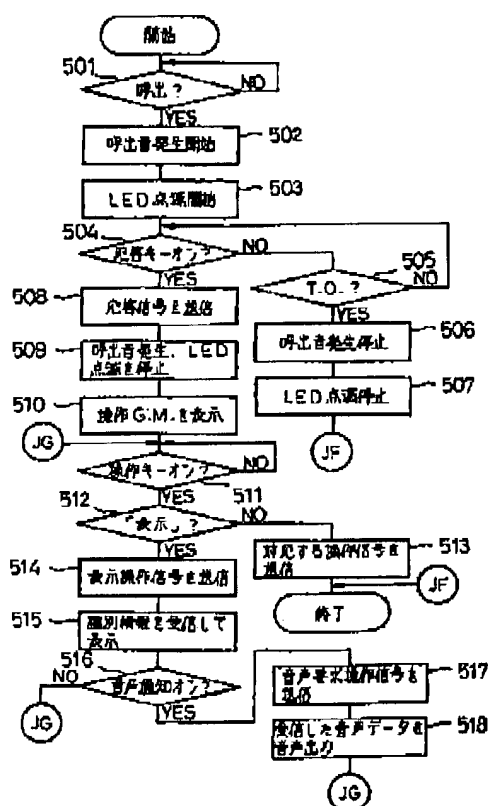
【図6】



【図10】



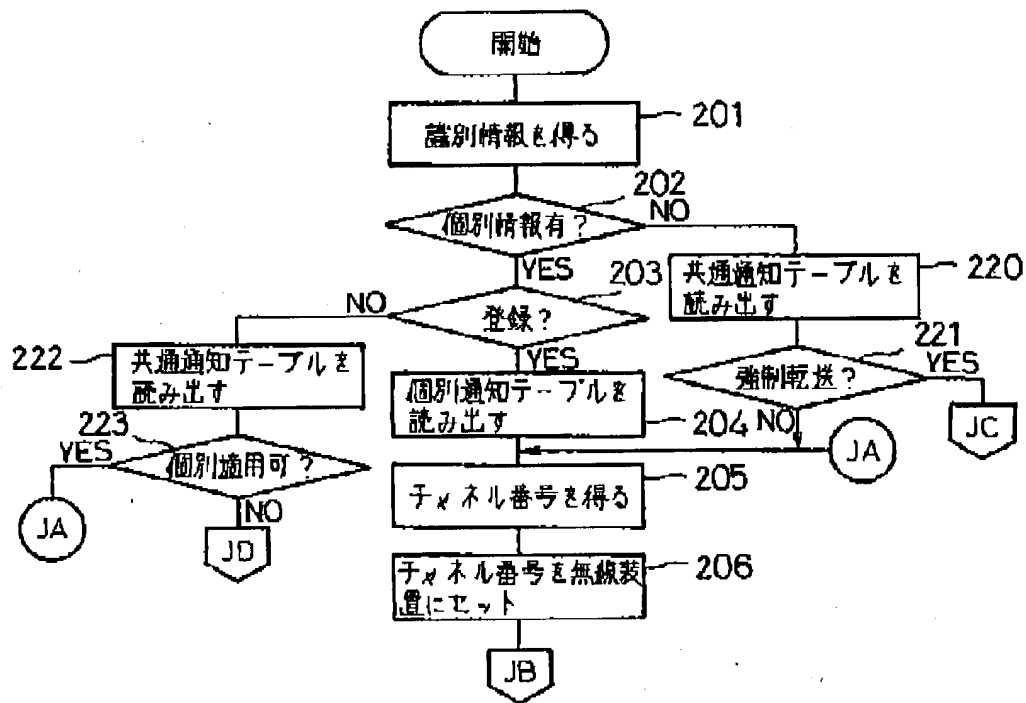
【図11】



(14)

特開平7-288667

【図7】



(15)

特開平7-288667

【図8】

